

小沼堅司教授 履歴・業績

小沼堅司教授 履歴・業績

[履歴]

1945年 栃木県塩谷郡塩谷町にて出生

専攻：西洋政治思想史

[学歴・職歴]

1968年 3月 中央大学法学部法律学科卒業

1971年 3月 中央大学大学院法学研究科政治学専攻修士課程卒業

1974年 3月 明治大学大学院政治経済学研究科政治学専攻博士課程修了
(単位取得)

1975年 3月 専修大学法学部兼任講師

1976年 4月 専修大学法学部講師

1980年 4月 専修大学法学部助教授

1986年 4月 専修大学法学部教授

1997年 9月 法学部長（～2001年 8月）

その他、一部教務委員会委員長、二部教務委員会委員長、21世紀構想会議委員長、全学法科大学院設置準備委員会委員長などを歴任。

2004年 7月 政治学博士（明治大学）

[業 績]

[編著書]

《単著》

『ユートピアの鎖—全体主義の歴史経験—』成文社，2003年10月

『イデオロギーとテロル—共産主義的全体主義独裁制における恐怖と狂気のシンフォニー』志学社，2015年2月

《共編著》

石村修，古川淳，小沼堅司編『いま戦争と平和を考える』国際書院，1992年12月

[論文]

「初期ヘーゲルにおける社会—政治認識の形成過程」（中央大学修士論文）
1972年2月

「ヘーゲル—その国家哲学の基本的性格」青木書店『国家思想史(上)』，
1974年10月

「ヘーゲルにおける近代認識」青木書店『現代と思想』18号，1974年12月

「アダム・スミスの道徳哲学における政治思想」『専修法学論集25号』，
1977年6月

「D. ヒューコムの道徳哲学における正義論の構造—その統治論解明のための予備的考察—」『専修大学法学研究所紀要4号 政治学の諸問題I』，
1978年3月

「価値的意識の革命—J. S ミル 政治思想の転換(1)」専修大学社会科学
研究所編『社会科学年報第15号』，1981年3月

「過剰同調社会論の試み(上)」『専修大学社会科学研究所月報No.225』，1982

年5月

「過剰同調社会論の試み(中)」『専修大学社会科学研究所月報No.230』, 1982

年10月

「過剰同調社会論の試み(下)」『専修大学社会科学研究所月報No.232』, 1982

年11月

「鶴見俊輔の思想—『戦時期日本の精神史』の精神的意味を中心に」『専修大学法学研究所紀要 9号 政治学の諸問題II』, 1984年3月

「マルクスと現代社会諸科学—思想史の領域から—大いなる〈封じ込め〉の理論?—」『専修大学社会科学研究所月報No.259』, 1985年2月

「J. S ミル 1948年フランス2月革命論」『社会科学年報第19号』1985年3月

「『産業主義』確立期における一つの思想風景(上)」『社会科学年報 第20号』, 1986年3月

「『産業主義』確立期における一つの思想風景(下)」『専修法学論集 第43号』, 1986年3月

「G. オーウェルズの政治思想—率直な精神—」『専修大学法学研究所所報 No.2』, 1987年2月

「G. オーウェルズとビルマ(上)—帝国主義批判の思想風景 (モラル・ランドスケープ)—」『専修法学論集第45号』, 1987年3月

「G. オーウェルズの全体主義認識における政治思想—ドフトエフスキーの「大審問官」伝説を引照して—」『社会科学年報第21号』, 1987年3月

「G. オーウェルズにおける「人間らしさ (decency)」の概念」『専修大学社会科学研究所月報No.284』, 1987年3月

「憎悪と恐怖(1)—「スターリン主義」考—」『専修大学社会科学研究所月報No.291』, 1987年10月

「憎悪と恐怖(2)—「スターリン主義」考—」『専修大学社会科学研究所月報No.291』, 1987年10月

- 報No.292』, 1987年11月
- 「G. オーウェルズとスペイン内戦(上)」『専修大学法学研究所紀要 第14号』, 1989年3月
- 「自由の精神の軌跡— A. ジイドの場合—」『専修大学法学研究所所報No.10』, 1991年3月
- 「社会主義と市民社会」『専修大学社会科学研究所月報No.333』, 1991年3月
- 『専修大学社会科学研究所40年史 ある日付—現代社会主義の崩壊について』専修大学社会科学研究所, 1993年3月
- 「G. オーウェルズの全体主義論・試論」田中, 中谷編『現代政治の理論と思想』, 青木書店, 1994年2月
- 「故郷観念あるいはパトリオティズムについて」『専修法学論集84号』, 2002年3月
- 「左翼全体主義の思想的考察」『専修法学論集87号』, 2003年3月
- 「北朝鮮全体主義支配体制」『専修大学法学研究所所報No.27』, 2003年3月
- 「共産党独裁による権威主義体制としての現代中国の本質」『世界平和研究170号』, 2006年8月
- 「イデオロギーとテロル(1)」『専修法学論集 117号』, 2013年3月
- 「イデオロギーとテロル(2)」『専修法学論集 118号』, 2013年7月
- 「イデオロギーとテロル(3)」『専修法学論集 119号』, 2013年11月
- 「イデオロギーとテロル(4)」『専修法学論集 120号』, 2014年3月
- 「イデオロギーとテロル(5)」『専修法学論集 123号』, 2015年3月